



一人の百歩よりも百人の一步 ~誰もが自分らしく生きることのできる社会へ~

夏休みの6年生保護者学習会(8月28日)、愛護班別人権・同和教育研修会(9月6日・10日)への保護者の皆様のご参加ありがとうございました。

保護者の皆様と教職員が足並みを揃えて、寒川の子どもたちの明るい未来を育む土壌を豊かにしよう、ひいては、誰もが自分らしく生きることのできる社会(共生社会)の実現を目指そうという思いで会を開催しました。寒川地区は、毎年、全家庭が参加して、人権の学びを行う意識の高い校区であることがすばらしいと思います。その積み重ねの成果として、寒川小学校の子どもたちの周りの人を大切にする言葉かけや相手を思いやる行動をたくさん目にして更に感心しています。



班別研修では、「アンコンシャス・バイアス」をテーマに話し合いました。日常生活の中で無意識に自分や周りの人を縛ってしまう「思い込み」や「決めつけ」に気付き、改善していこうという気持ちが高まりました。9月25日に行う「さくらっ子集会」でも6年生がテーマとして「思い込み」や「決めつけ」について取り上げ、全校児童に啓発します。おうちでも、班別研修での学びを基に、子どもたちの学びを支えください。今回の保護者の皆様の感想は、人権・同和教育部の役員さん方が「陽だまり通信」にまとめてくださることになっています。

親子体験学習 — 科学の不思議・作る楽しさを味わいました —

9月7日(土)、研修部主催の親子体験学習がありました。愛媛県総合科学博物館の藤本先生を講師にお招きして、60名を超える親子が参加して開催しました。はじめに、「気体」の特性を、楽しい実験を通して、分かりやすく教えていただき、その後、「バスボム」作りや「空気砲」作りに取り組みました。親子で協力して楽しい体験学習の時間となりました。運営して下さった研修部の皆さん、ありがとうございました。



造形活動の日 — 朝顔・昆虫・すずかけの木・へちま・新長谷寺・寒川漁港 —

9月9日(月)の造形活動の日では、全校児童が、それぞれの学年のテーマで、午前中、造形活動に取り組みました。寒川漁港や新長谷寺に出かけたり、自分で採った虫の写真やへちまの実の実物を見て描いたり工夫して造形活動に親しみました。

